

■産業界と教育機関のニーズのマッチングの促進

<現行の取組>

- 産業界と教育界が協力した授業や教材のデータベース化
 - IPA（約130コース）及び国立情報学研究所（約200コンテンツ）において公開中
 - <課題>データベースの周知、情報の追加
- インターンシップの推進

- 文部科学省において、「産学連携によるIT実践教育のための中核拠点整備事業」を概算要求中（ISSスクエアでは14名がインターンシップ（22年度））
- 経済産業省において、「IT人材育成強化加速事業」において実践的インターンシップを実施（69名がインターンシップ（22年度））
- <課題>これらの取組の成果の教育機関及び産業界への紹介によるインターンシップの推進

■実践的な情報セキュリティ教育の確立に向けた産学連携の取組

<現行の取組>

- 企業人講師を活用した授業の推進
 - 文部科学省において、「産学連携によるIT実践教育のための中核拠点整備事業」を概算要求中（修了予定者（23年度）ISSスクエア：33名、ITKeys：24名）
 - 経済産業省において、「IT人材育成強化加速事業」において実践的講座を実施（10大学17講座 受講者合計約900名（23年度））
 - 経団連において、筑波大学及び九州大学に対して企業人講師の派遣に関する支援を実施（修了予定者（23年度）59名）
 - <課題>データベースの利用等、産と学の協力によるマッチングの推進
- 授業や教材のデータベース化、インターンシップの推進（再掲）

<一般人>



<企業のセキュリティ担当者>



■大学の共通教育・教養教育の中での情報セキュリティ教育の充実

<課題>

- ・資格試験合格による単位取得の拡大（CompTIA資格を15の大学等が活用）
- ・情報セキュリティに必要な最新情報の提供
- ・公務員試験での出題

■企業の経営者層の意識改革の促進

<現行の取組>

- 国からの情報発信
 - 経団連主催の会議等において政府職員が講演
 - <課題>同様の取組の積極的実施
- 経営者が意見交換できる場の構築
 - 経済産業省がJ-CSIPを開催
 - <課題>

- ・セミナーの実施
- ・啓発資料の開発

■CIO、CISOの位置付けの明確化

<課題>

- ・CIO、CISOに求められる役割・能力の整理

<政府機関のセキュリティ担当者>



■初等中等教育における情報セキュリティ教育の充実

<現行の取組>

- 情報モラル教育の積極的実施
- 「情報」の授業の必修化
- 教員の能力の向上

- 文部科学省において、「教育の情報化に関する手引き」を公表するとともに、情報教育担当者連絡会議、情報セキュリティセミナー等を開催

- <課題>
- 「情報」の授業における情報セキュリティの確実な実施

■高度な専門性を持った情報セキュリティ人材育成のための大学・大学院教育の強化

<現行の取組>

- 複数大学や産業界の連携協力による拠点形成
- モデルコースの提示

- 文部科学省において、「産学連携によるIT実践教育のための中核拠点整備事業」を概算要求中。
- 経団連において筑波大学及び九州大学に対して支援
- <課題>これらの取組の成果の全国的な展開

- <課題>
- ・研究科の設置の推進
- ・汎用的教育コンテンツの作成・更新
- ・「情報セキュリティ技術経営」等の学位の検討

■情報セキュリティ人材育成計画やキャリアパスの策定、普及の促進

<現行の取組>

- キャリアパスモデルの普及促進
 - IPAにおいて、キャリアパスモデル策定作業中
 - <課題>

- ・人材育成計画の策定及び普及の促進
- ・ベストプラクティスの共有

■情報セキュリティ人材育成に関するインセンティブ付与の促進

<課題>

- ・業務で求められるスキルと関連する資格、教育プログラムの整理

■社会人学生として改めて高等教育機関等で学び直すリカレント教育の促進

<現行の取組>

- 社会人対象の講座の増設
 - 文部科学省において、「産学連携によるIT実践教育のための中核拠点整備事業」を概算要求中。（ISSスクエアでは修了者45名のうち14名が社会人（22年度））
 - <課題>取組の全国的な展開、高等教育機関における講座増設支援
- セミナーの実施
 - 経済産業省において、中小企業情報セキュリティ指導者セミナーを開催（全国25か所（各会場50～100名程度）（23年度））

■政府機関における情報セキュリティ人材育成

<現行の取組>

- キャリアパスの構築
 - IPAにおいて、キャリアパスモデル策定作業中
- 研修・教材作成の検討
 - NISCにおいて、職員に対する教育用資料を作成・配布するとともに政府職員向けの勉強会の企画、施設見学会等を実施。今年度は標的型メールに係る訓練を実施。
 - <課題>

- ・人材育成計画の策定
- ・特定の業務担当者への資格要件の設定
- ・ベストプラクティスの共有
- ・官民の人事交流による専門性の担保
- ・政府機関等における「とんがった」人材の活用

<セキュリティ産業人材>



<先端的な研究者・技術者>



■個人・企業等に対するインセンティブ措置や、情報セキュリティ・コンテスト等を活用した人材育成

- <課題> セキュリティキャンプの充実、ハッキングコンテストの開催

■グローバル化に対応できる情報セキュリティ人材の育成

- <課題> 海外への学会参加やインターンシップ等の取組の推進

■高度な情報セキュリティ人材の育成

<現行の取組>

- 研究開発戦略の推進
 - 「情報セキュリティ研究開発戦略」を策定
 - <課題>戦略に沿った研究開発の推進